

香川県教育委員会 5 月定例会会議録

1. 開催日時 令和 6 年 5 月 1 3 日 (月)

開 会 午前 1 0 時 0 0 分

閉 会 午前 1 0 時 2 4 分

2. 開催場所 教育委員会室

3. 教育委員会出席者の氏名

教 育 長	淀 谷 圭 三 郎
委 員	藤 澤 茜
委 員	木 下 敬 三
委 員	蓮 井 明 博
委 員	鳥 取 美 穂
委 員	持 田 め ぐ み

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長(兼)新県立体育館整備推進総室長	海 津 洋
教育次長兼政策調整監	塩 田 広 宜
教育次長	吉 田 智
総務課長	近 藤 高 弘
義務教育課長	荻 原 絢 嗣
高校教育課長	長 林 真 司
保健体育課長	渡 邊 浩 司
生涯学習・文化財課長	佐 々 木 隆 司
政策主幹(兼)総務課副課長	宮 西 正 博
生涯学習・文化財課副課長	横 関 美 幸
義務教育課長補佐(兼)主任管理主事	東 条 直 樹
高校教育課長補佐(兼)主任管理主事	三 笠 善 宣
保健体育課長補佐(兼)主任体育主事	荒 井 憲 司
生涯学習・文化財課課長補佐	澁 谷 政 志
義務教育課主任管理主事	西 原 浩 志
高校教育課主任管理主事	来 田 淳
生涯学習・文化財課主任社会教育主事	藤 田 雅 也

傍聴人 0 名

5. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第 1 号、第 2 号、第 3 号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「個人に関する情報であつ

て、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあること」及び「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより人事管理に係る事務に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼすおそれがあるもの」に該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

6. 議 案

○議案第1号 香川県スポーツ推進審議会委員の任命について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 香川県社会教育委員の委嘱について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第3号 香川県立図書館協議会委員の任命について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

7. その他事項

○その他事項1 令和7年度香川県公立学校教員採用選考試験実施要項について

高校教育課長から、令和7年度香川県公立学校教員採用選考試験実施要項について説明。

【質疑・意見交換】

＜蓮井委員＞今回募集しない教科があるのか。既に任用されている先生の配置の関係で募集しないと考えるとよいのか。

＜高校教育課長＞そのとおり。

＜蓮井委員＞現在の世の中の流れを見ると、情報関係の先生の採用が必要になってくと思う。なかなかすぐ採用できるものではなく、前倒しで募集していくことはできないのか。

＜高校教育課長＞おっしゃるとおり、世の中の変化、動きを見ながら、退職人数等も踏まえ、どういう科目の教員を採用していくか、中長期的な視点で採用計画を作成している。情報も今後重要な科目と考え、一定数採用してきたものである。退職数についてはまだ推定人数ではあるが、その辺りを勘案した結果、このようになっている。

＜藤澤委員＞試験内容には直接関係ないが、昨年度、面接会場がバリアフリーではないとの問題があったと思うが、今年度も（県庁）北館を使うことにしたのか。

＜高校教育課長＞配慮が必要な方もこれまでにいたと思うが、過去も、事務局側で階段に人員を配置するなど、そういった方には配慮して実施してきた。今回も同様に行わせていただければと考えている。

＜木下委員＞３年次に第１次選考試験における総合教養を受験可能にすることによって、受験人数の増加が見込まれるのか。

＜義務教育課長＞令和７年度採用の受験者数の公表に際しては、大学３年次の者は別枠で公表することを想定しているが、既に一定数応募が出てきている状況である。学生にとっては大学３年次から一部の試験を受験することができ負担軽減になるので、やはり中長期的には受験者数の確保に寄与するものと考えている。

＜木下委員＞関東でもこういった事例はあるのか。

＜義務教育課長＞昨年度から増えてきており、今年もこの３年次受験を導入する自治体が増えてきている印象である。

＜持田委員＞世界史や地学を受験したい方については、募集がないがどうなるのか。

＜高校教育課長＞本来受けたい科目の採用がない場合は、例えば同じ教科内で募集がある別の科目で受験した方もこれまでにいた。それが難しい場合は、希望する科目の募集がある他県を受けている状況である。

＜持田委員＞別科目で受験するのはやはり受験生には難しいのか。

＜高校教育課長＞そのとおり、高い点数を取るのは難しいのではないかな。

＜教育長＞採用について、根本的な議論をするつもりはないのか。これまで教育の提供者側の論理だけで採用してきた歴史があると思うが、世の中の変化、先ほどの情報についてもそうだが、他県の動向も踏まえて、採用のやり方を抜本的に変えよう、というような議論はあるのか。

＜高校教育課長＞確かに、必要数を必要なだけ補充していくような小手先の採用ではいけないと考えている。教職の魅力向上など、何らかの形で検討していかなければならないと考えている。

＜教育長＞まとめると、今後一定時間は掛かると思われるが、採用のあり方については抜本的に考えていきたい、という理解でよいか。

＜高校教育課長＞検討してまいりたい。